

豊中市の図書館活動 I

— 報告 —

令和2年度（2020年度）版



豊中市立図書館

目 次

はじめに.....	1
図書館の使命と理念 基本目標.....	2
1. 数値で見る令和2年度の豊中市立図書館のすがた.....	3
2. 令和2年度 トピックス.....	4
◆ 新型コロナウイルス禍における図書館サービス.....	4
◆ (仮称) 中央図書館基本構想の策定.....	5
◆ 動く図書館 70 周年の取り組み.....	5
◆ 服部、高川図書館 空調設備改修工事により休館.....	5
3. 地域・市民との協働.....	6
◆ しょうないREK (R:リサイクル E:イベント K:瓦版[情報]).....	6
◆ 千里文化センター「コラボ」.....	7
◆ 北摂アーカイブス ～地域情報アーカイブ化事業～.....	7
◆ 関係団体一覧.....	8
◆ 市民との取り組み事業.....	9
4. 子ども読書活動推進計画.....	10
5. 事業報告.....	10
◆ 暮らしの課題解決.....	10
◆ レファレンスサービス.....	12
◆ 個人貸出サービス.....	13
◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」.....	14
◆ ヤングアダルト (YA) サービス.....	14

◆ 高齢者サービス	15
◆ 障害者サービス	16
◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）	16
◆ 団体へのサービス.....	17
◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス.....	18
◆ 図書室.....	19
◆ 資料の収集と保存.....	19
◆ 人権・平和に関する取り組み.....	20
◆ 研修	20
6. 情報発信（広報・広告など）	21
7. 職員による出前講座・講師派遣、視察.....	23
8. 図書館協議会	24
9. 図書館評価.....	24
10. グランドデザインの進捗状況	25
11. とよなかブックプラネット事業.....	29
12. （仮称）中央図書館基本構想	30
施設案内	32

はじめに

令和 2 年度当初、大阪府を対象とした緊急事態宣言発出により、市立図書館は休館を余儀なくされました。その中でも団体貸出や動画の作成など、図書館としての資料提供、情報発信につとめるとともに、応援業務や医療従事者用のガウンづくりにも従事、これまでにない年度の始まりとなりました。

新型コロナウイルスの感染状況に応じて臨時休館としながらも予約資料の受け渡しのためのサービスを実施した期間もあるほか、書架への立ち入りを始める際には時間制限をお願いするなど、コロナ禍において図書館の役割をどのように果たしていくのか考え、その時々可能な形で図書館サービスの提供につとめてきました。一方で非来館型のサービスについても動画作成や「自宅から使える／楽しめるウェブサイト」の紹介などに取り組みました。

また、関係団体対象のヒアリングや市民参加のオンラインミーティング、市民向けオンラインシンポジウム、市民意見公募を経て、令和 3 年 2 月に（仮称）中央図書館基本構想を策定いたしました。オンラインミーティングや市民意見公募では、図書館に寄せられる市民からの熱い思いや期待を感じる一年でした。

図書館での読書振興に関わる事業についても対面での実施は困難となりましたが、一方でオンラインによる実施としたことで幅広い年齢の市民の参加につながりました。障害者サービスにおける対面朗読は、Web 会議システムを活用するなど、外出が困難な状況下で対応できる新たな手法での実施としました。図書館サポーターの活動も手法を工夫しながら、定着した取り組みとなっています。

今後も「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」や、図書館協議会で検討をいただいた高齢者サービスのあり方に関する報告書などを踏まえ、効果的・効率的な運営をめざすとともに、地域の知の拠点としての役割を果たし、図書館サービスを安定的に提供できる体制構築に向けてつとめてまいります。

令和 3 年（2021 年）9 月
豊中市立岡町図書館
館長 須藤 有美

図書館の使命と理念 基本目標

<公共図書館の使命・理念>

- ・ 多様な資料や情報を収集・保存し提供することによりすべての市民に知る機会を保障します。
- ・ 民主主義と地方自治の発展に寄与します。
- ・ 市民の生きがいや心の豊かさを生み出す生涯学習を推進します。

<豊中市立図書館の使命・理念>

- ・ 豊中市立図書館は「ユネスコ公共図書館宣言」・「図書館法」・「図書館の自由に関する宣言」に基づき、多様な資料や情報を収集・保存し提供します。
- ・ 豊中市立図書館は、すべての市民に知る自由を保障することにより、民主主義や市民自治の発展に、寄与します。
- ・ 豊中市立図書館は、教育・文化・情報・社会参加の機関としてその任務を果すことを使命とします。

<豊中市立図書館の基本目標>

1. 図書館活動全般を通じて教育と文化の向上に貢献し、人権を尊重するまちづくりをめざします。
2. 図書館活動を活発に展開することにより、市民生活に密着した、より質の高いサービスを提供します。
3. 図書館の運営については、納税者が納得できるよう透明性が高く、無駄のない、効果的な運営に努めます。
4. 資料提供については、利用者の秘密を守り、知る自由を保障するため、最善を尽くします。
5. 市民が、より豊かで潤いのある文化的な生活を営むために、必要な資料や場を提供し、市民の人間的・文化的教養の醸成を支援します。
6. 日常生活や仕事における、さまざまな課題を解決するために、必要な情報や知識を提供し、個人の能力開発や地域のビジネス活動を支援します。
7. メディアリテラシーの向上にむけ環境を整え、情報格差を解消し、市民の情報生活がより豊かになるよう努めます。
8. 「豊中市子ども読書活動推進計画」に基づき読書環境を整備し、子ども読書活動を推進します。
9. 高齢者や障害者等誰もが利用しやすいよう、情報提供を進め読書環境を整備し、すべての人が共生できる地域社会の実現に貢献します。
10. 地域情報を図書館に集め、地域の活動拠点や居場所として、地域の文化創造に積極的に参画し、コミュニティの活性化に努めます。
11. 図書館協議会や市民活動団体・市民等の参加や協力を得ながら、「豊中市市民公益活動推進条例」等をふまえて、より魅力的な図書館の運営に努めます。
12. 行政機関に対して適切な情報支援を行い、行政の政策立案等を側面からサポートすることにより、市民生活の向上に努めます。
13. 他の図書館や地域の大学・専門機関等とも連携・協力し、より高度で幅広い市民ニーズに対応できるよう努めます。
14. 図書館活動全般を通じて、多文化共生社会の確立に貢献します。

1. 数値で見る令和2年度の豊中市立図書館のすがた

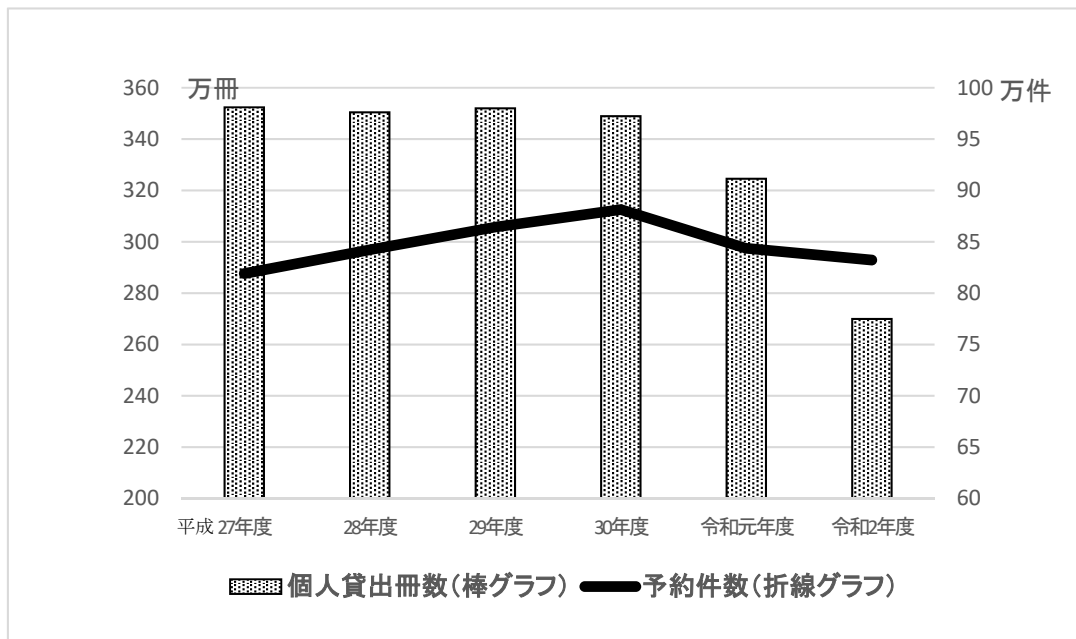
人口	400,955人
個人登録者数	138,699人
個人貸出冊数	2,699,764冊
団体貸出冊数	119,134冊
貸出人数	777,503人
予約(受付)件数	832,169件

調査相談件数	60,314件
年間利用者数(入館者数)	1,190,190人
職員数(うち常勤)	111(47)人
蔵書冊数	1,053,513冊
年間受入冊数	49,688冊
図書購入費	69,316,917円

※貸出冊数は継続を含む
 ※年間利用者数(入館者数)は図書室・動く図書館含まず

- ◆ 市民1人あたりの 図書購入費は 173円
 蔵書数は 2.6冊
 貸出冊数は 6.7冊
- ◆ 開館日1日あたりの来館者数は 5,141人 図書室・動く図書館含まず
- ◆ 利用者登録率は 34.6%
※登録率…平成17年度より有効期間5年の更新処理を実施
- ◆ 蔵書回転率は 2.6回
※蔵書回転率…一冊の蔵書が平均何回貸し出されたかを示す

<個人貸出冊数および予約件数の推移>



- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館やサービスの休止をおこなった期間あり
- ◆ 服部、高川図書館は空調設備改修工事のため臨時休館の期間あり

2. 令和2年度 トピックス

◆ 新型コロナウイルス禍における図書館サービス

新型コロナウイルスの感染者が増加し、4月7日に大阪府に緊急事態宣言が発出された。翌8日には全サービスを停止し、遠隔でのレファレンスのみ受け付けた。この間、放課後子どもクラブ・臨時的な子どもの居場所への応援、医療用ガウンの作製（13,040枚）など豊中市の他部局への応援もおこなった。5月12日には予約確保資料の貸出など一部サービスを再開。5月20日に緊急事態宣言が解除され、一部サービスの再開第二弾として予約の受付を始めた。6月1日には館内資料の貸出を再開。6月16日には座席数を減らし館内閲覧・参考室の利用および夜間開館を、7月7日よりおはなし会・集会室の利用を再開した。

その後、段階を経てサービスを通常に近づけていった。

不要不急の外出自粛が求められる中でのサービスとして、図書館Webサイトでの情報提供、リモートによる一部事業の実施、また図書館見学に代わるものとしてエリアにある図書館の特色を紹介したスライドの作成と各学校への配布などをおこなった。

日付／国・自治体の動き	図書館運営状況
3月 国内で感染広がる	一部サービスの休止 3/2～3/7 予約の受け渡しのみ
3月7日 豊中市内で初の感染者確認	全サービスの停止 3/8～3/24 返却は可
4月1日	一部サービスの再開 3/25～ 予約確保資料の貸出再開
4月7日 大阪府（を含む7都道府県）に緊急事態宣言発出、4/16対象地域を全国に拡大	予約の受付再開
4月8日	全サービスの停止 4/8～5/11 返却は可
5月12日	一部サービスの再開 予約確保資料の貸出再開
5月20日 大阪府内 緊急事態宣言解除	一部サービスの再開 第二弾 予約の受付再開
5月21日 豊中市独自で5月中の「新型コロナウイルス感染予防徹底期間」設定	一部サービスを制限しての開館の予定が延期
6月 豊中市立小中学校再開 6月1日から段階的に再開 6月3日小学校給食再開 6月15日から本格的に再開	一部サービスを制限しての開館 6/1～ 館内資料の貸出を再開、滞在時間は30分以内 一部サービスを制限しての開館 第二弾 6/16～ 座席数減での館内閲覧、参考室開室、夜間開館を再開
7月7日	一部サービスを制限しての開館 第三弾 使用用途を限定して集会室提供、対面朗読を再開
10月7日	サービス制限の緩和 滞在時間は1時間以内、キーボード式OPAC、市民向けインターネットパソコン、国立国会図書館デジタル化資料送信サービス、自習スペースの提供を再開
令和3年1月14日 大阪府に緊急事態宣言発出	集会室利用午後8時までに短縮
3月1日 大阪モデル・イエローステージに移行	集会室利用時間の短縮措置解除（午後9時まで）

◆ (仮称) 中央図書館基本構想の策定

社会変化にともなう将来的なニーズへの対応や公共施設マネジメントの推進を念頭に、今後の図書館サービスや(仮称)中央図書館を中心とした新たな図書館網の構築に関する方向性をまとめた、「豊中市(仮称)中央図書館基本構想」を令和3年2月に策定した。

同構想の策定を踏まえ、今後は電子書籍の導入や非来館型サービスの検討、さらには(仮称)中央図書館の候補地選定を含む具体的な施設再配置の検討をおこなう。(30ページ参照)

◆ 動く図書館70周年の取り組み

動く図書館は令和2年に昭和25年の巡回開始から70周年を迎えた。数百冊程度で開始した巡回は、市立図書館の移動図書館としては全国で初めてであり、多い時は2台の車で1か月に約100か所へ巡回した。現在も動く図書館「とよ1ぶっくる」が市内各地域や施設に本を届けている。

これを記念し、岡町図書館で「動く図書館70周年パネル展」を開催した。パネルでは、市民の身近なところへ資料を届ける様子や、歴代の動く図書館車、動く図書館車の製作工程、イベントの様子など写真を用いて紹介している。作成したパネルは、「とよなか市民環境展2020」および植物園でのイベント「動く図書館@植物園～みどりのライブラリー～」の際も展示した。また「動く図書館おかげさまで70年」ののぼりは、巡回場所の目印として一般ステーションでの巡回時に設置し、活用している。



動く図書館の歴史をパネルで振りかえる

のぼりをたてて業務にあたる「とよ1ぶっくる」



◆ 服部、高川図書館 空調設備改修工事により休館

服部図書館は空調設備改修工事のため6月22日から11月30日まで、また高川図書館も12月6日から令和3年5月31日まで臨時休館した。休館期間が重ならないよう日程を調整するとともに、多くの利用が見込まれる資料や、受け入れ後まもない資料・雑誌を事前に他館で保管し、利用に供することができるよう工夫した。

3. 地域・市民との協働

豊中市立図書館は、子どもの読書活動推進・障害者サービス・多文化サービスなどさまざまな分野の事業に市民との協働によって長年取り組んできた。豊中市における子ども読書活動は、「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」や「おはなしボランティアポケット」ほか市民とともに築き上げてきたものである。また障害者サービスでは、市民グループによる点字図書・録音図書・さわる絵本の製作や対面朗読などにより、目や体の不自由な人への読書環境が整備されてきた。

令和2年度は対面での取り組みは実施できなかったが、ブックスタート事業「えほんはじめまして」、障害者サービス、しょうないREK、北摂アーカイブス事業、図書館サポーターの活動などにおいてWeb会議システムを活用したボランティア研修やミーティング、対面朗読の実施、感染予防対策を講じたうえで一部開催など方法を工夫して実施した。

図書館は、資料・情報と人をつなぐ役割を基盤に、人と人、地域や組織がつながるすべての人にとっての「わたしの図書館」であることをめざしている。協働により、市民感覚が事業に反映され、地域に根ざした図書館活動につながると考えている。

◆ しょうないREK（R：リサイクル E：イベント K：瓦版[情報]）

正式事業名：「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」

平成16年度協働事業提案制度において、市民活動団体「地球ママくらぶ」から「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」が提案された。以降16年にわたり、庄内図書館3階での常設販売や地域のイベントでの出張販売（Recycle）、地域活性化のためのイベント実施（Event）、地域情報誌瓦版の発行（Kawaraban）を柱として活動している。

令和2年度は、活動開始15周年記念シンポジウム「ミナミのミライ協働サミット（仮）」の開催を12月に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、やむなく中止した。

リサイクル本の出張販売を予定していた地域のイベントの多くが中止となる中、「とよなか市民環境展2020」・「地域こだわりマルシェ&野菜市場」（いずれも市立環境交流センター）・「庄内つくるフェス」（グリーンスポーツセンター）で古本市を実施。常設リサイクル本販売は、臨時休館中など一時休止期間をはさみながら実施し、合計1,529冊を販売した。

そのほか、とよなか地域創生塾受講生が南部地域のフィールドワークの一環として庄内図書館3階協働事業スペースを視察。また慶應義塾大学文学部図書館・情報学専攻生から、しょうないREKの多文化共生支援活動についてオンラインによるインタビュー取材を受けた。

今後は図書館と地域の活性化に加え、令和4年度に開設予定の「（仮称）南部コラボセンター」での活動も視野に入れた取り組みをおこなう。



「庄内つくるフェス」での古本市



◆ 千里文化センター「コラボ」

5つの施設（公民館・図書館・介護予防センター・市役所出張所・保健センター）がひとつの建物に集まる利点を生かし、行政サービスや文化活動を通じて多くの市民が利用・交流する、市民と行政の協働の場をめざしている。図書館もその一翼を担い、市民実行委員会・千里文化センター主催事業に関わっている。

地域住民を講師とした「千里コラボ大学校」は、「アイヌ民族とのコラボ」をテーマに開催。図書館職員が関連資料のリストを作り資料紹介や展示をおこなった。テーマにそって参加者がお勧めの本を持ち寄る『ブック・トーク&トーク「この本読んだ会」』では、職員が関連本紹介もおこなっている。「なが〜いコロナ自粛生活 この時期に読んだ本を紹介しあいましょう」という企画もあった。「多文化カフェ」でも、テーマとなる国や地域の関連資料の展示・貸出をおこなった。

10年間、市と協働でさまざまな事業を開催してきた「千里文化センター市民実行委員会」が令和3年3月末をもって解散し、これらの事業も終了となったが、「千里親子ふれあい広場」での読み聞かせや「コラボまつり」（令和2年度は実施されず）などをはじめ、今後も連携をおこなっていく。

◆ 北摂アーカイブス ～地域情報アーカイブ化事業～

市民ボランティア「地域フォトエディター」とともに地域の記録（写真）を収集・デジタル化しキャプションをつけて Web 上で公開している。図書館は地域情報アーカイブ化事業実行委員会事務局として、市民とともに活動している。



蛍池図書館「北摂アーカイブス写真展」



千里図書館「北摂アーカイブス写真展 北摂の今と昔」

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により講演会など催しは中止し、千里、蛍池図書館でパネル展を開催した。また、地域フォトエディターとの定例会は、Web 会議システムを利用しておこなった。

◆ 関係団体一覧

子どもの読書支援	障害者・高齢者読書支援
<p><子ども文庫></p> <ul style="list-style-type: none"> *おひさま岡町文庫 *おひさま文庫 *きずなの里文庫 *くれよん文庫 *Keiおばさんの本の部屋 月よう文庫 *そよ風文庫 *つみ木文庫 *仲よし文庫 *にじいろ文庫 まめぶんこ ゆめのき文庫 (*印は豊中子ども文庫連絡会加入文庫) 	<p>大阪声のグループ 豊中点訳会 グループ・エコー さわる絵本 かすみ草</p> <p>多文化読書支援</p> <p>国際交流の会とよなか（T I F A） おかまちおやこでにほんご しょうないおやこでにほんご せんりおやこでにほんご せんりにほんご</p> <p>読書会</p> <p>つぐみ読書会 とよ読書会（豊中市立図書館利用者の会） 豊中読書会 原田読書サークル 木よう読書会</p>
<p>おはなしボランティアポケット 豊中紙芝居の会 千里ストーリーテリングの会 野畑おはなしの会 おはなしたまてばこ おはなしたんけんたい 紙芝居クラブともだちや</p>	<p>朗読グループ</p> <p>草の実会</p> <p>その他</p> <p>豊中図書館の未来を考える会 しょうないREK 地域情報アーカイブ化事業実行委員会</p>

◆ 市民との取り組み事業

事業名	団体名	開催数 (日数)	実施館
子ども読書活動連絡会	子ども読書活動連絡会委員	2	岡町
子どもと本をつなぐボランティア講座	おはなしボランティアポケット	6	岡町
子どもと本のつどい	豊中子ども文庫連絡会	5	岡町
子どもと本のまつり		14	岡町
		8	野畑
おはなし会（おはなしポケット）	おはなしボランティアポケット	1	庄内
おはなしもこもこ		1	蛸池
おはなしプレゼント 等（含：打ち合わせ）	野畑おはなしの会	11	野畑
ときどき！おはなし会・おはなしワールド 等 （含：打ち合わせ）	千里ストーリーテリングの会	2	千里
しょうないREK実行委員会 等	しょうないREK実行委員会	10	庄内
古本市（地域こだわりマルシェ&野菜市 庄内つくるフェス とよなか市民環境展）	しょうないREK	3	庄内
リサイクル本コーナー		10	庄内
図書館サポーター	登録ボランティア	13	庄内
		7	野畑
見守りサポーター	登録ボランティア	9	庄内
地域情報アーカイブ化事業 （北摂アーカイブス講演会・写真展・編集会議等）	地域情報アーカイブ化事業実行委員会・地域フォトエディター	6	岡町
北摂アーカイブス写真展	地域情報アーカイブ化事業実行委員会	(16)	蛸池
		(23)	千里
音訳ボランティアフォローアップ講座（含：選定会議）	グループエコー・大阪声のグループ 他	3	岡町
おかまちおやこでにほんご	おやこでにほんご	18	岡町
しょうないおやこでにほんご		3	庄内
せんりおやこでにほんご		14	千里
コラボ大蔵校	千里文化センター市民実行委員会	1	千里
多文化カフェ		4	千里
ブック・トーク&トーク「この本読んだ会」		3	千里
千里親子ふれあい広場	赤ちゃんからのESD	2	千里
YAボランティア活動（ふゆのおたのしみ会等）	YAらぼ	14	千里
たかがわ地域子ども教室	千里ネイチャークラブ 等	5	高川
図書館の未来を考えるオンラインミーティング	市民	4	岡町

事業名	団体名	開催数 (日数)	実施館
里親制度説明会・相談会・パネル展	児童養護施設翼 大阪西本願寺常照園	1	野畑
ユニセフ写真展 「新型コロナウイルスとたたかう世界の子どもたち」	大阪ユニセフ協会	(15)	千里

4. 子ども読書活動推進計画

「第2期豊中市子育て・子育て支援行動計画 こどもすこやか育みプラン・とよなか」に継承した「豊中市子ども読書活動推進計画」の理念に基づき、関係部局・施設・団体・市民と連携しながら、子どもの権利を保障するため読書活動の推進に取り組んでいる。

令和2年度は第1回子ども読書活動連絡会を書面にて開催。各委員にアンケートを実施し、読み聞かせに関する著作権情報などを提供した。第2回では、「2020年度とよなか子ども読書マップ」の更新とともに、国や府の子ども読書活動推進計画の動向や「図書館おはなし会ガイドライン」の情報提供、アンケート結果や外出自粛期間中の現場での取り組みの報告などにより、コロナ禍における活動のヒントを得る機会とした。



第2回子ども読書活動連絡会

今後も「子ども読書活動連絡会」の協力体制のもと、子どもの読書活動の推進に取り組む。

5. 事業報告

◆ 暮らしの課題解決

図書館では市民生活のうえで特に関心の高い課題として、4つのテーマ「医療・健康情報（岡町）」・「多文化共生（庄内）」・「ビジネス・就労（千里）」・「子育て・DV（野畑）」を設定している。新型コロナウイルス感染拡大により、関係部局・機関と連携したセミナーの開催などが困難となる中、引き続き各テーマにそった資料収集や情報提供などの取り組みを充実させた。

各テーマごとの取り組み（市民協働事業については別途掲載 9 ページ）

<p>医療・健康情報</p>	<p><講座、関連資料の展示・貸出> ○認知症サポーター養成講座（5回 会場：岡町、庄内、千里、東豊中、高川図書館 共催：長寿安心課・豊中市キャラバンメイト連絡会）</p> <p><その他> ○パスファインダー「感染症」の作成 ○「認め合い、知って納得！認知症情報コーナー」設置（蛭池図書館） ○「医療情報コーナー」設置（蛭池図書館）</p>
<p>多文化共生</p>	<p><選書> ○とよなか国際交流協会を通して、市内にお住まいの外国語を母語とする方々へ読みたい本、必要とする本（外国語で書かれたもの）のニーズ調査を実施 ○書店が開催する外国語資料の選書イベントに参加</p> <p><多文化コーナーのPR> ○「日本語教室」（会場：庄内公民館、主催：とよなか国際交流協会）での情報提供（関連資料のリスト作成・本の紹介、外国語版の「豊中市立図書館を使う方へのお知らせ」（貸出のきまり）を設置） ○雑誌「みんなの図書館」4月号に「豊中市立図書館における多文化共生サービスについて」を寄稿し、サービスを紹介</p> <p><配本・貸出> ○とよなか国際交流協会への外国語資料の配本・貸出</p> <p><その他> ○図書館 Web サイト上にある「がいこくごのほんのさがしかた」を改訂</p>
<p>ビジネス・就労</p>	<p><ブックリストの提供> ○とよなかまちゼミ（主催：meet-upとよなか オンライン講座と少人数での対面講座をメインに実施。参加された店舗のゼミのテーマに沿ってブックリストを作成し提供）</p> <p><ビジネス・就労支援サービスのPR> ○豊中市でのビジネス支援の取り組みに関する神戸市からの視察において、図書館のビジネス・就労支援サービスについても紹介</p> <p><配本・貸出> ○豊中しごとセンター（所管：くらし支援課）へのビジネス・就労支援関連資料の配本・貸出</p>

子育て・DV	<p><説明会・相談会></p> <p>○里親制度説明会と個別相談会（共催：児童養護施設 大阪西本願寺常照園・児童養護施設 翼）パネル・関連資料の展示と貸出（会場：野畑図書館）</p> <p><ポスター展・パネル展></p> <p>○10月里親月間 里親制度に関するポスターの掲示・関連図書の展示と貸出（共催：子育て相談課 会場：庄内、野畑図書館）</p> <p>○里親制度に関するパネル・関連資料の展示と貸出（会場：岡町図書館）</p> <p><その他></p> <p>○パズファインダー「子育て」の改訂</p>
--------	---

◆ レファレンスサービス

資料をつかって日常の疑問や、仕事で必要な情報など、市民のさまざまな調べもののサポートをしている。関連機関や相談窓口・専門家の紹介もおこなう。

レファレンス記録の一部は国立国会図書館レファレンス協同データベースへ登録し、Web公開している。令和2年度のレファレンス協同データベース被アクセス件数は、参加館851館中第6位となった（令和2年12月31日現在）。市町村立図書館の中では、平成27年度以降6年連続で第1位である。

令和2年度は緊急事態宣言による臨時休館中に、Webサイトで新型コロナウイルス関連サイトのリンク集などを公開し、更新を続けて情報提供をおこなった。また、新型コロナウイルスや、メディアリテラシー、自宅での過ごし方などのレファレンスPRポスターなどを作成し、公開した。

来館でのレファレンス相談の件数は令和元年度に比べて減少したが、e-レファレンスの件数は増加した。

調査事例紹介：その49

コロナウイルスとは何か／メディアリテラシーを学べる本

豊中市立図書館には、毎日いろいろな調査の依頼が届きます。そのうちの一部をご紹介します。

Q. コロナウイルスとは何か。

A. 『岩波生物学辞典』（岩波書店 1996）p490のコロナウイルスの項目には「ウイルスの一種。（略）ヒトにカゼの症状をおこす。（略）形状が太陽のコロナに似るところから命名された」など記載があります。ほかにも『感染症の事典』（朝倉書店 2004）、『イラストでわかる微生物学超入門』（南山堂）や、国立感染症研究所のウェブサイトにもコロナウイルスについての記述があります。

Q. SNS やインターネットなどのメディアリテラシーを学べる本。フェイクニュースに騙されない、トラブルに巻き込まれないようにする方法について書かれた本はあるか。

A. 豊中市立図書館ウェブサイトの蔵書検索「詳細検索」から、件名の欄に「メディアリテラシー」や「情報倫理」を入れて検索すると、以下のような資料が検索結果にでてきます。

- ・『その情報はどこから？ ネット時代の情報選別力』（筑摩書房 2019）
- ・『ネットで読む情報リテラシー あの人はずばぬかれないのか』（筑摩書房 2019）
- ・『情報モラル教育 知っておきたい子どものネットコミュニケーションとトラブル予防』（金子書房 2018）

【児童書】

- ・『池上彰と考えるフェイクニュースの見破り方 1 「正しい情報」って、なに?』（文芸堂 2019）
- ・『情報モラル学習 迷惑をかけない、被害にあわないネットのルール 第1巻』（理論社 2019）

事例について詳しく知りたい方は、豊中市立図書館のサイトの「調べる／相談する」→「レファレンスサービス」→「レファレンス事例をさがす」から、キーワード「コロナウイルス」、「メディアリテラシー」で検索してみてください。

調査事例紹介ポスター・チラシ

◆ 個人貸出サービス

<貸出室・一般図書コーナー>

令和2年度の個人有効登録者数は3.6%減少。継続貸出を除いた成人書の個人貸出冊数は19.8%減少。年齢別貸出人数（15才以上）は19.2%減少している。緊急事態宣言発出による全館臨時休館および服部、高川図書館の空調設備改修工事の休館による影響が顕著である。これに比して個人予約件数の減少は0.29%に止まる。年度当初に一月半ほど新規の予約受付を停止していたにも関わらず、前年度と比べて横ばいの個人予約件数を維持した。とりわけ図書館Webサイトによる個人予約件数は7.4%増加している。各館カウンター窓口・館内OPACによる個人予約受付件数は、28.5%の減少であることから、インターネット予約が非来館型サービスとして一定の役割を果たしたと考えられる。

臨時休館中は、感染拡大防止対策をおこないつつ、館内掲示物や各種案内サインの整理・新設、蔵書の更新作業などをおこない、再開時により魅力的な図書館になるよう各館で工夫をした。

- | | | |
|--------------------------------|--------------------|--------------------------|
| ■登録率 34.6% | ■個人有効登録者数 138,699人 | ■年齢別貸出人数（15才以上） 651,869人 |
| ■継続貸出を除く個人貸出冊数（成人書） 1,378,658冊 | | ■個人予約件数 761,610件 |
| ■個人予約件数（Web+携帯） 644,245件 | | ■個人予約件数（館内） 117,365件 |

<こども室・児童書コーナー>

14才以下の個人有効登録者数は6.8%減少、年齢別貸出人数も17.1%減少した。また、児童書の貸出冊数は12.2%の減少、個人貸出冊数は10.3%減少した。新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての全館臨時休館やサービスの制限、服部図書館と高川図書館の空調設備改修工事の休館などが要因としてあげられる。

各館では、感染拡大防止のため、おはなし会などの行事は休止した。また机や椅子、畳などの撤去や配置換えをおこない、少しでも安全・安心に利用ができるようレイアウトを変更した。感染の落ち着いている時期には、規模の縮小や予約制とするなど、状況に合わせた工夫をしながらおはなし会や工作教室などをおこなった。

4月の全サービスの停止期間には「おうちで読みたい絵本リスト～就学前のお子さんへ～」として、3～5才の子どもとその保護者を対象とした絵本リストと動画「おうちで絵本編」・「ブックトーク編」を作成し公開した。また、担当エリアを徒歩でまわり、地域課題の把握につとめた館もあった。

夏休みには、「豊中子ども文庫連絡会」との共催事業「子どもと本のまつり」で、本の福袋の貸出を多くの館でおこなった。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| ■個人有効登録者数（14才以下） 22,772人 | ■年齢別貸出人数（14才以下） 125,634人 |
| ■継続貸出を除く貸出冊数（児童書、団体含む） 939,137冊 | |
| ■継続貸出を除く個人貸出冊数（児童書） 865,337冊 | |

◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」

絵本を通して赤ちゃんと保護者が楽しいひとときを過ごし、心ふれあう時間を持つきっかけとなることを目的とし、子育て・子育て支援事業の一環として4か月児健康診査時に実施している。図書館と母子保健課、そして「豊中子ども文庫連絡会」・「おはなしボランティアポケット」をはじめとする市民ボランティアが連携・協働し、健診を受ける一組一組に言葉をかけ、絵本を手渡してきた。

この事業は、母語が外国語の人や障害のある人を含む、市内のすべての赤ちゃんと保護者と関わりを持つ貴重な機会である。新たな図書館利用の促進とともに、関係部局やボランティアスタッフとの協働によりさまざまな情報提供をおこなうことで、地域の子育て支援サービスと市民をつなぐ役割も果たしている。

しかしながら令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来とは異なり4か月児健診の会場において母子保健課を通じて引換券を配布、後日図書館にてブックスタートパックと引き換える形をとった。

スタッフミーティングについてもオンラインによる講座を開催。NPOブックスタート職員に講師を依頼し「ブックスタートとは」・「ブックスタートのあゆみ」から始まり、ほかの自治体のブックスタートの現状や工夫などについての講義を受け、スタッフが理解を深める機会とした。



オンラインによるスタッフミーティング

◆ ヤングアダルト（YA）サービス

ヤングアダルト（YA）とは、おもに中学生・高校生（12～18才）の世代を指す。個人有効登録者数は12～17才が3.6%減少、18～21才は3.2%減少。年齢別貸出人数も減少傾向にあるが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての全館臨時休館やサービスの制限、服部図書館と高川図書館の空調設備改修工事の休館による影響も考えられる。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年の取り組みが中止になることも多かった。一方で、中学校図書委員が紙芝居を読み聞かせしている姿を撮影したものをDVDに収録しエリア内小学校へ配布するなど、工夫してサービスを提供した。

千里図書館で活動するYAらぼ（YA世代のボランティア）は、新しく2人のメンバーを迎え、計8人が登録。実際に集まったの活動は必要最低限に抑え、メールでのリモート活動をおこなった。「YA! BOOKS通信」の作成ほか、中止になった「ふゆのおたのしみ会」の代わりに感染対策を講じた「ミニときどき！おはなし会」（不定期開催）に参加し、絵本の読み聞かせを通じて、子どもたちやその保護者との交流の機会をもった。また、同世代におすすめしたい本のPOPを作成した。



ミニときどき！おはなし会

■個人有効登録者数 12～17才 17,080人 18～21才 6,098人

■年齢別貸出人数 12～21才 48,109人

おもな取り組み	実施館
エリア内の小中学校と連携し夏休み中にスタンプラリーを実施	高川図書館（公共のみで実施）
子ども読書活動フォーラム関連資料の展示	岡町図書館
市内高等学校への学校訪問（岡町からも同行）、YA!BOOKS通信19号発行（チャート式おすすめ本紹介）、千里青雲高等学校文化部発表会において図書館紹介のブース設置、おすすめ本POP展示（千里青雲高等学校図書委員・YAらぼメンバー・職員による）、YAらぼメンバーの「ミニときどき！おはなし会」参加、高校情報パンフレット展示と配布	千里図書館
第二中学校生徒調べ学習展示、高校情報パンフレット展示と配布	野畑図書館
エリア内小中学校連携巡回POP展示	東豊中図書館
第四中学校・第十六中学校との連携展示	服部図書館
第十二中学校生徒によるエリア内小学校での紙芝居会（新型コロナウイルス感染防止のため紙芝居会を収録したDVD配布による実施）	高川図書館
学校図書館の活動紹介と作品展示、高校情報パンフレット展示と配布	蛭池図書館

◆ 高齢者サービス

長寿安心課および「豊中市キャラバン・メイト連絡会」と共催して「認知症サポーター養成講座」を岡町、庄内、千里、東豊中、高川図書館の5館で実施した。

庄内図書館では来館者のニーズに合わせ、ストレッチ、スマートフォンの使い方、一人分の食事レシピなど老後の前向きな暮らしを考える資料を集めた「シニアライフ応援コーナー」を設置している。令和2年度の貸出冊数は1,337冊であった。

また同コーナーに「とよなか縁結実^{えんゆうみ}」（地域包括ケアシステム・豊中モデル）と連携し、当団体で実施している、スマートフォンを使って参加できるイベントのチラシを置いている。

そのほか高齢者施設向けの団体貸出や配本サービスもおこなっている。なお庄内図書館では、平成26年度から市全域の高齢者施設に団体リサイクルによる資料譲渡の機会を提供している。令和2年度は6施設、609冊の利用があった。

また、高川図書館では地域子ども教室を開催。高齢者の経験と特技・能力が地域に還元されるとともに異世代交流の場へとつながっている。

図書館協議会からの「豊中市立図書館における高齢者サービスのあり方について（報告書）」も踏まえ、今後も高齢化社会に対応し、状況に応じたきめ細やかなサービスをおこなっていく。



高齢者施設むけ団体リサイクル会場



◆ 障害者サービス

緊急事態宣言発出による臨時休館にともない、来館による対面朗読サービスを中止し、5月から「ICレコーダーによる代読録音サービス」*1、令和3年2月からはWeb会議システムを活用した「オンラインによる対面朗読サービス」*2を実施した。また対面朗読サービス再開後は、利用者とボランティアの間にパーテーションを立て、両者の距離を取り、部屋の換気や消毒などの対策をとった。「音訳ボランティアフォローアップ講座」*3は、感染の広がりなどを見ながら、対策をとり2週連続で実施した。

点字図書や録音図書の貸出が増えたが、とくに郵送（盲人用郵便物は無料で送付可）による貸出が伸びており、コロナ禍の需要増に対応できた。

障害者週間がある12月に、展示「すべての人へ本の喜びをpart2」をおこなった。障害への理解や、公共図書館の障害者サービスの利用促進につなげるため、障害に関する資料や、点字図書や録音図書、「りんごの棚」*4を展示した。資料を製作するボランティアグループの紹介と、他部局の関連チラシ類も置き、広く障害に関する情報提供の機会とした。

Dai-ga-sグループ“小さな灯”運動北東部支部より、プレクストークPTN3*5の寄贈があった。希望する利用者への貸出用機器として活用していく。また伊藤忠記念財団よりマルチメディアデジターわいわい文庫の寄贈があった。

今後の課題として、資料や機器を必要とされる人へのPRや担当職員の技術習得などが必要である。また、市立小中学校児童生徒へのタブレット（必要な児童へはあわせて点字ディスプレイ*6）の配備・読書バリアフリー法の施行などの環境の変化を受け、サービスのあり方を模索していく。

*1 利用者が希望する資料の朗読をICレコーダーに録音し、CDで提供。本人や家族、ヘルパーを介しての資料受け渡しとなった。朗読は職員やボランティアグループがおこなった。4人8件の実施があった。

*2 Web会議システムを利用し、オンラインで利用者と朗読者が別室で対面朗読をおこなう。事前の申し込みを受け、朗読者の調整、資料の用意をする。時間は従来の対面朗読サービスと同じ2時間以内。

*3 例年秋と冬に各1回ずつ、音訳ボランティアの技術向上のため実施。

*4 活字を読むことが困難な子どもたちの読書の手段を紹介する展示セット。所蔵の大活字本、点字付きさわる絵本などの多様な資料と展示用面展台などがセットになっている。

*5 視覚に障害のある人が音声で読書するための卓上型デジター図書再生専用機。

*6 点字を出力するための機器。パソコンに接続し、パソコンの画面上に表示されている情報を、平面上に開いた穴からピンが出ることで点字として読み取ることができる。

◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）

庁内各部局に対する資料の貸出やレファレンスサービスに加え、各職階の新任職員研修（課長級・課長補佐級・係長級・5年目・新規採用）や課題研修での業務に役立つ情報の提供をおこなっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により研修が延期または中止となったため、実施方法を見直し、ブックリストの配布や庁内サイトへの掲示など、接触をともなわない方法で実施した。あわせて図書館が庁内向けにおこなっているサービスの発信について、名称を「豊中市立図書館庁内仕事応援」に変更。サイトの整理をおこない、わかりやすい情報発信につとめた。レファレンスは、「新しい生活様式に対応した認知症徘徊模擬訓練について」や「新型コロナウイルス流行後の社会変化を踏まえた市のデジタル化関連政策」など「アフターコロナ」を見据えた行政サービスについての依頼が多かった。

◆ 団体へのサービス

学校、放課後子どもクラブ、幼稚園、保育所（園）、こども園、高齢者施設、障害者施設、子ども文庫・おはなしボランティアグループ・読書会などの市内の活動グループに資料貸出などの支援をおこなっている。

<学校図書館>

学校内での児童・生徒のリクエスト対応の支援や、調べ学習に使用する資料の提供など、基本的なサービスを実施した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく小中学校図書館への貸出冊数は、前年比12.0%減少となった。毎年2回開催している学校司書と公共図書館司書との地域館交流会は、1回のみ対面で実施し、コロナ禍における課題の共有をおこなった。例年、各地域で学校と公共図書館が協力連携して、展示やスタンプラリーなどをおこなっている。蛭池図書館では学校図書館活動紹介のロビー展を、高川図書館では開館20周年記念行事「夏休みスタンプラリー」を実施した。ほかにも高川図書館では、担当エリアの小中学校卒業生全員に高川図書館YAコーナーのPR文を、小中学校教員には教員支援用資料の中から貸出ベストを紹介するおたよりを配布した。

岡岡図書館の団体リサイクル常設コーナーには、新型コロナウイルス感染拡大防止の臨時休校期間を活用して、例年より多くの学校司書が来場し、学校図書館や学級文庫の本を選んだ。利用校数は令和元年度の6校から27校に、利用冊数は145点から1,066点に増えた。

■小中学校図書館への貸出冊数 52,379 冊（継続貸出9,835冊含む）

<学校図書館支援ライブラリー>

学校図書館の「読書」・「学習・情報」・「教員支援」の3つの機能をサポートしている。蛭池図書館所蔵の教員支援用資料は利用が順調に伸びている。各教科関連資料のほか、学級経営・学習指導に関する資料もよく利用された。

岡岡図書館のパッキング資料（調べ学習サポートパック・図鑑セット・総合百科事典ポプラディア）については、特に図鑑、総合百科事典ポプラディアの利用が多く、調べ学習サポートパックについても利用日時が重なり要望に応えられないこともあった。令和2年度は図鑑の冊数の追加と、「昔のくらし」調べに使える本を複数冊追加購入した。

<幼稚園・保育所（園）・こども園・放課後子どもクラブなど>

幼稚園・保育所（園）・こども園・家庭保育所・認可外保育所に、季節や行事などに関係する資料の貸出をおこなっている。貸出や受取場所などについて各施設の相談にも応じ、選書・配本の協力をしている。小学校の放課後子どもクラブには図書館が選定した定評のある本・紙芝居などを配本・貸出している。令和2年度はコロナ禍で図書館休館中の臨時的サービスとして、障害児通所支援事業所17か所に団体貸出セットの配本「えほん配達便」を実施した。また、児童養護施設とコロナ感染で休園になったこども園3か所への配本サービスをおこなった。

<子ども文庫>

市内の子ども文庫は12文庫。そのうち「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」加入は9文庫。それぞれの地域で子どもに本を手渡し、子どもの育ちを見守る活動が続けられている。子どもの身近な居場所として、また、子どもをとりまく大人の交流の場として地域に根づいている。図書館からは文庫活動を支援するために長期の団体貸出や必要なテーマの資料を提供し、サポートにつとめている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、休止する文庫もあったが、時間や人数を制限し、感染防止につとめながら活動する所もあった。

毎年、豊子連と共催で「子どもと本のまつり」を実施しているが、令和2年度は「子どもと本のまつりレー」とし、福袋と工作セットの配布を図書館と文庫でおこなった。同じく共催事業の「子どもと本のつどい」では、岡町図書館を会場に「こしだミカ絵本原画展」を開催するとともに、生物学者・本川達雄さんと絵本作家・こしだミカさんを講師に「まるごと楽しむ絵本ナマコ天国」を開催、Web会議システムによるライブ配信も同時におこなった。



「まるごと楽しむ絵本ナマコ天国」Web 配信



子どもと本のまつりレー

<おはなしボランティア>

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により図書館の集会室利用ができない期間があり、多くのボランティアグループが場所を変えながら、子どもへの読み聞かせのほか、自主的な勉強会や例会、講座など活動を続けた。図書館に関連する各グループの活動内容については「市民との取り組み事業」（9ページ）を参照。「子どもと本をつなぐボランティア講座」（全6回）を実施したほか、「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」は、令和3年3月に日本図書館協会児童青少年委員会委員・川上博幸さんを講師に、「この絵本を届けたい！～紹介文を書いてみよう～」をテーマに書面開催した。完成した紹介文を活動先の子どもたちに届けたグループもあった。

◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス

図書館から離れた地域や来館が困難な子どもたちの通う施設へ、動く図書館車に約3,000点の資料を載せ、16ステーションおよび10施設を約4週間に1回の頻度で巡回した。一般ステーションの「ゴッツ下」は、より多くの方が安全に利用できる「刀根山元町北会館」へ移転した。施設への巡回のうち、こども園・保育所（園）への巡回サービスは令和3年3月末で終了し、配本に移行した。

5月までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、巡回中止やサービス縮小が続き、個人貸出人数は減少したが個人貸出冊数は増加した。服部緑地都市緑化植物園では「動く図書館@植物園～みどりのライブラリー～」を開催したほか、「とよなか市民環境展2020」に参加。また一般ステーションに庄内西小学校3年生が訪れ、動く図書館見学をおこなった。植物園でのイベントやステーションでの見学は、屋外という特性を活かして実施することができた。

年度後半には、感染対策をおこないながら児童発達支援事業所あゆみで通園児を対象に「おはなし会がやってきた！」を、こども園・保育所（園）の卒園児を対象として4施設で「卒園おはなし会」を催した。

■貸出人数 5,566 人

■個人貸出冊数 36,075 冊

◆ 図書室

いぶき図書室には約 7,400 冊の資料があり、週 2 回午後 1 時から午後 5 時まで開室している。また、月 2 回図書室職員とボランティアの協力によりおはなし会をおこなっている。

利倉西センター図書室には約 4,300 冊の資料があり、週 2 回午後 2 時から午後 5 時まで開室している。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開室日数が減少したにもかかわらず、利用実績は、利倉西センター図書室は微減にとどまり、いぶき図書室については貸出冊数が 2 割以上増えた。

いぶき図書室の利用が増加した要因は、近隣の服部図書館が空調設備改修工事で半年近く休館した影響によるものと考えられる。

「青年の家いぶき」の改修工事にともない、1 階にあるいぶき図書室は令和 3 年 3 月 20 日より休室している。

(いぶき図書室)	■貸出人数 6,424 人	■貸出冊数 22,214 冊
(利倉西センター図書室)	■貸出人数 2,019 人	■貸出冊数 5,794 冊

◆ 資料の収集と保存

収集に関しては毎週 1 回、職員で構成する選書委員会で、市内全図書館の資料の選書をおこなっている。「豊中市立図書館資料収集方針」（図書館 Web サイトで公開）に基づき、市民の主体的な生涯学習活動を支援していくために市民の要望および社会の動向にも配慮しながら、教養・調査研究・レクリエーション・ビジネス・日常の生活に役立つ資料を収集している。

令和 2 年度も引き続き「暮らしの課題解決」支援サービスに関わる資料の整備に取り組んだ。新型コロナウイルスの影響で、書店での現物確認などに支障をきたしたが、図書館が果たすべき使命や役割を念頭に置きながら、リクエストやレファレンス内容の分析をおこなうと同時に、府立図書館や他市の図書館との相互貸借制度・広域利用も活用し、利用者への多様な資料・情報提供をめざす。保存のための書庫スペースに限りのある中で、（仮称）中央図書館基本構想を踏まえた豊中市立図書館の蔵書の構築および保存につとめていくことが課題である。

◆ 人権・平和に関する取り組み

市民向けの取り組みとして、各種資料展示や講演会・パネル展を実施し、職員と市民がともに人権・平和について考える機会としている。

また、職員が人権について理解を深め、市民への啓発につなげるため、年3回の研修をおこなっている。

事業名	講師
市民向け人権講演会・資料展示・パネル展	
人権講演会「手話×エンターテインメントできこえないひと もきこえるひともおとなも子どももみんなで遊ぼう！」	手話エンターテインメント発信団 o i o i
資料展示「戦争と平和（平和月間）」	
資料展示「男女共同参画週間連携展示 2020」（男女共同参画週間）すてっぴと共催	
資料展示「人権関連資料（人権月間）」（各図書館 蛭池図書館は通年）	
参加型展示「平和の木」（庄内、千里、東豊中、高川、蛭池図書館）	
里親制度説明会（野畑図書館）	
パネル・資料展示「里親制度パネル展」（野畑図書館）	
ポスター資料展示「里親ポスター展」（庄内、野畑図書館）	
パネル・資料展示「里親制度パネル展」（岡町図書館）	
パネル・資料展示「平和と学びのポスター展」（岡町、野畑図書館）	
パネル展示「ユニセフ写真展 新型コロナ感染症とたたかう世界の子どもたち」（千里図書館）	
職員研修	
講演録画VTR「人権についての市民意識調査から見えてくるもの」の視聴、市民意識調査「人権意識の現状と人権啓発の課題」資料配布、振り返りシートの作成、職員間での共有	
人権啓発DVD「調べられた土地 避けられた地域」の視聴、資料「身元調査にかかわる問合せについて」・「同和地区に関する問合せへの対応について」の配布、感想や意見交換	
人権啓発DVDの視聴、感想や意見交換、感想レポートの作成、職員間での共有 「誰もがその人らしくーLGBTー」・「身元調査にかかわる問合せについて」・「ネット・SNSトラブルから子どもを守る」・「お互いの本音が伝わる時」・「ハラスメントを生まないコミュニケーション グレーゾーン事例から考える」	
人権啓発DVDの視聴、振り返りシートの作成、職員間での共有 「人権は小さな気づきから」・「家庭の中の人権カラフル」・「ヒューマン博士と考えよう！差別から人権の確立へ」	
人権啓発DVD「インターネットと人権」の視聴、感想や意見交換	

◆ 研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの研修がリモートでおこなわれた。

図書館専門研修として、学校図書館との連携を意識した研修のほか、先進事例および業務に関係の深い社会動向を学ぶことにつとめ、図書館職員として必要な専門性や技能の習得に取り組んだ。

「レファレンス」・「児童サービス」・「障害者サービス」・「ヤングアダルトサービス」などのテーマについては継続して取り組んでいる。また、行政職員としての知識や技術習得のため、政策課題に沿った庁内研修を受講した。

職員が受講した主な研修（職場研修、個人研修含む）

専門研修	一般研修
公立図書館と学校図書館との合同研修 「探求型学習と図書館」	SDGs研修～SDGs de 地方創生ゲーム
令和2年度大阪府図書館司書セミナー【基本編】 「若手図書館員のためのレファレンス入門」	行政課題セミナー TOYONAKA DXセミナー
令和2年度大阪府図書館司書セミナー 「YA世代向け選書について」等	EBPM実践講座
令和2年度全国公共図書館研究集会 「すべての人が必要ながん情報を得られる社会へ —図書館と医療分野の連携—」等	豊中市における「協働の文化」づくり事業オンライン勉強会 「暮らしやすさ・生きやすさの新しい価値を生み出す協働」
令和2年度子どもの読書活動推進支援員養成講座 「やってみよう！はじめてのおはなし会」	令和2年度公民学連携セミナー 「連携の力でここまでできる！地域課題解決プロジェクト」
令和2年度大阪公共図書館協会 児童サービス基本研修・実務研修	まちづくりアドバイザー座談会 「コロナ時代だからこそそのまちづくりルネッサンス」
令和2年度大阪公共図書館協会 参考業務実務研修	認知症サポーター養成講座
令和2年度大阪公共図書館協会 障害者サービス基本研修	情報セキュリティ研修
大子連児童文化講座 「子どもと大人に境目はあるのか」等	人権研修主任推進員・推進員等合同研修
遠隔講座講演と新刊紹介 2019年出版された子どもの本	
見えない見えにくい子どものための本	
国立国会図書館 デジタルコレクション活用フォーラム	
準デジタルアーキビスト資格取得講座	
令和2年度新任図書館長研修	
文部科学省委託事業「読書バリアフリーに向けた 図書館サービス研修」 障害者サービス初級講座「すべての図書館で行ってほしい障害者サービスの実際」	
国立国会図書館 ウェブ講演会「『新しい日常』における図書館」	
計：42 講座 62 人参加	計：15 講座 407 人参加

6. 情報発信（広報・広告など）

市民サービスの向上および地域の活性化をはかるため、各種媒体を活用した情報配信・広報・広告事業をすすめている。

令和2年度は市民課にて転入者向けに配布する図書館案内チラシの内容を更新。また下記のメディアに豊中市立図書館に関する記事などが掲載された。

メディア掲載一覧

タイトル・内容等	メディア		種類	
「ろうを生きる難聴を生きる」にて庄内公民館・庄内図書館共催の人権講演会「手話×エンターテイメントできこえないひともきこえるひともおとなも子どももみんなで遊ぼう！」撮影・放送	NHK Eテレ	2020.11	テレビ	
障害児通所支援事業所への臨時配本サービス「えほん配達便」の紹介	マチゴト豊中・池田ニュース	2020.5	Web	
野畑・庄内・庄内幸町・高川図書館自習スペースの利用開始紹介記事	TNN豊中報道。2	2020.10		
そんぽの家豊中庄本町「ホームだより」に動く図書館の紹介	SONPOケア	2021.2 2021.3		
「シャレール東豊中 住まいりポート」に東豊中図書館の紹介と写真掲載	UR賃貸住宅	2020.10		
「青鉛筆」のコーナーに障害児通所支援事業所への臨時配本サービス「えほん配達便」の紹介と写真掲載	朝日新聞	2020.5	新聞	
『戦後75年』原爆の記憶 紙芝居に 米国在住森本さんの体験記にて、富子森本ウェストさんのいとこ、堀田くみ子さんによる紙芝居「その時、私は13才-富子森本ウェストの広島原爆体験」豊中市立図書館寄贈の紹介	毎日新聞	2020.8		
「豊中を楽しむ2021年版スケジュール帖」の見開き情報ページに図書館を紹介	豊中手帖2021	2020.11	冊子	
特集「いま、子どもたちが希望を見出すために」内「今、学校図書館にできること」を寄稿	子どもと読書	2020.9	雑誌	
特集「外国語・多文化サービス」内「豊中市立図書館における多文化サービスについて」を寄稿	みんなの図書館	2021.3		
探究学習と学校図書館ー子どもの個性の多様性を生かすー『公共図書館と学校図書館の連携』を寄稿	大子連ニュース	2020.10	定期刊行物	
「不足する感染防護服を作製」記事内にて図書館などの職員の協力を紹介	病院だより+とよなか	2020.11		
児童図書館員養成専門講座について「学びを深め、次に」の記事を寄稿	ニュース・レター (日本図書館協会児童青少年委員会)	2021.1		
特集「海外にルーツを持つ児童生徒への支援」内「海外にルーツを持つ児童・生徒へ、図書館はどのような支援ができるのか」寄稿	学図研ニュース	2021.2		
外国語のこどもの本、大集合！	まみたん 北摂西版	7月号	2020.6	ミニコミ誌
赤ちゃんと図書館へ行こう！		1月号	2020.12	
子育てのいろいろ、図書館で		4月号	2021.3	

7. 職員による出前講座・講師派遣、視察

「豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン）」で掲げた「待ちからまちへ」の理念を実現するため、各種イベントや講座会場など市内外のさまざまな市民参加の場に出向いて、関係機関と連携しながら講座や資料提供をおこなっている。テーマにそった関連資料を紹介・提供し、子どもから大人まですべての世代が読書に親しむ機会や、より広く深く情報を得られる機会となるようつとめている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、講座やイベントの中止や延期を余儀なくされた。また、図書館関係者対象のシンポジウムや研修会などの開催、視察が困難となる中、オンラインでの講師依頼やインタビューが寄せられた。

出前講座

<子育て中の保護者を対象にした絵本講座>

「子育てサークル・子育てサロン・地域子育て支援センター」「千里親子ふれあい広場」「すてっぷ読み聞かせレクチャー」等

<学びの場での子どもの読書に役立つ図書館活用講座>

「新任学校司書研修」「校内研修」「学校図書館活用研修」「マチカネ先生塾」

各種講座での資料・図書館紹介

「認知症サポーター養成講座」「とよなかまちゼミ」「ブック・トーク&トーク この本読んだ会」「庄内つくるフェス」「地域こだわりマルシェ&野菜市場」「とよなか市民環境展」「認知症サポーター養成講座」「にほんご教室」「多文化カフェ」「コラボ大学校」「里親制度の説明会・個別相談会」「公民館各種講座」等

講師派遣

- ・学校訪問（図書館見学の代替）（中豊島小学校）
- ・レファレンスデータベース企画協力員会議（国立国会図書館関西館・オンライン会議）
- ・第16回レファレンス協同データベース事業フォーラム（国立国会図書館関西館・オンライン会議）
- ・情報検索研修（障害福祉センターひまわり）

視察受入

<受入団体>（ ）は受入施設

- ・慶應義塾大学文学部図書館・情報学専攻生によるオンラインインタビュー（庄内）
- ・とよなか地域創成塾生（庄内）
- ・箕面おはなしボランティア（千里）

<実習・インターンシップ>

- ・同志社大学（岡町）／近畿大学（岡町）

8. 図書館協議会

令和2年度は3回（7、11、2月）開催された。

高齢化社会の進展にともない図書館に求められる役割も変化するなか、豊中市立図書館における高齢者サービスについて議論がおこなわれ「豊中市立図書館における高齢者サービスのあり方について（報告書）」としてまとめられた。

会議録は図書館 Web サイトで公開している。

令和2年度の委員一覧

名 前	団 体 名・役 職 等
山 本 恵 信	小学校長会代表
尾 崎 理 人	中学校長会代表
吉 岡 一 美	こども園長会代表
天 瀬 恵 子	豊中図書館の未来を考える会
松 田 美 和 子	豊中子ども文庫連絡会
◎ 岸 本 岳 文	学識経験者
○ 瀬 戸 口 誠	学識経験者
山 本 晃 輔	学識経験者
藤 井 新 二	市民公募

◎委員長 ○委員長職務代理者

9. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有をはかる仕組みとして、平成20年度から「豊中市立図書館評価システム」（以下「評価システム」）を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。毎年の評価項目・指標については「豊中市の図書館活動Ⅱ 統計・資料」に簡略化して掲載している。

それまで「評価システム」でおこなっていた進捗管理を「豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン）」（以下「グランドデザイン」）の策定を機に、平成26年度からは「グランドデザイン」の進行管理と一体化した。

令和2年度は「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」（以下「基本構想」）の策定に際し、豊中市立図書館の基本コンセプトと3つの基本方針に対応する形で評価指標の設定をおこなった。今後は5年ごとに実施する自己点検および外部評価において「評価システム」の評価項目・指標なども見直すなかで「基本構想」の評価指標を取り入れ、今後の「評価システム」全体について検討をしていく。なお、「グランドデザイン」の目標設定や進行管理は「基本構想」に包含する形で継承される。

10. グランドデザインの進捗状況

グランドデザインの4つの目標 進行管理報告書 令和2年度(2020年度)

グランドデザインの4つの目標とは「豊中市立図書館の中長期計画 豊中市立図書館グランドデザイン」（平成26年3月策定、以後グランドデザイン）において、令和5年（2023年）までに図書館のめざす姿を実現するために設定されたものです。

図書館のめざす姿を実現するため、28のプランを優先順位の高いものからすすめることになっていきます。この優先順位の高いプランの実施状況を確認することで、グランドデザインの進捗状況の点検をすすめていきます。進行管理については以下のとおり行います。

- ・0～4の目標のうち、複数のプランがあるものについては、図書館の使命および関連の事業計画や当該年度における図書館を取り巻く現状などに照らし合わせ、年度ごとに優先順位を決定します。決定には直接サービスに関わる分館の施設長等も関わります。

- ・28のプランを関連する4つの目標（1～4）と目標実現を支える取り組み（0）ごとに分類します。

- ・28のプランの優先順位の高い取り組みを抽出し、事業ごとの取り組みや課題、次年度に向けての予定を達成状況とともに表しています。

- ・優先順位の高い取り組みがどの程度達成できているか確認することにより、図書館のめざす姿の実現に向けての進行管理とします。

●グランドデザインは、今後（仮称）中央図書館基本構想に包含され、改めて設定される評価指標と目標に基づいて進捗管理を行っていきます。

達成度 ◎：十分達成できた ○：おおむね達成できた △：一部達成 -：未達成

1. 学びによる市民と地域の自立を支えます。 該当プラン⑳・㉑・㉒・㉓・㉔

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、令和3年度に向けての取り組み
該当プランなし		

2. 市民の利便性を向上させあらゆる情報を提供します。 該当プラン⑰・⑱・㉕・㉖・㉗

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、令和3年度に向けての取り組み
優先的な取組プランと事例 【優先的な取組プラン：⑰ セルフ貸出・返却・予約受取ができる環境を整えます】 【事例】 ・新型コロナウイルス感染予防の面からも、セルフ機器の利用による非接触型サービスの重要性があらためて認識されました。	○	【課題】 ・セルフ機器の活用とフロアワークの充実による安心安全な利用サービスの拡大と利便性の維持向上 ・利用動向の分析をもとにした今後のセルフ機器展開の検討⑰

<p>【優先的取組プラン：⑳ ICTを活用したサービスを提供します】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフ式簡易予約棚の未設置館への導入について検討しました。 ・Web 会議システム「Zoom」の導入により、非来館の形での対面朗読を実施しました。 ・混雑ランプ「ロコガイド」の導入により、来館に際して、図書館 Web サイトで各館の混雑状況を確認できるようになりました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍の導入 ・（仮称）中央図書館基本構想において、サービスポイントでのセルフ機器の活用による効率化についての検討⑳ <p>【令和3年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡町図書館にもセルフ式予約受取棚（簡易型）を設置します。⑰ ・Web サイトでの新規利用者登録とパスワード発行など、手続きのデジタル化による非来館型サービスの充実を図ります。 ・電子書籍の導入について、分野・購入形態・システムとの連携などの具体的な検討を進めます。㉑
---	---	--

3. 地域課題に対応した図書館サービスを提供します。 該当プラン④・⑦・⑧・⑭・⑯・㉒

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、令和3年度に向けての取り組み
該当プランなし		

4. 学校図書館の支援を通じて子どもたちの学びの基礎作りを支えます。 該当プラン⑪

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、令和3年度に向けての取り組み
--------------	------	-------------------

<p>【優先的取組プラン：⑩学校図書館を支援する人材の配置】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）庄内さくら学園に向けた学校図書館統合を円滑に進めるため、担当者会議等を開催し情報共有を行いました。 ・新田小学校の学校図書館の校内移転のため、学校図書館端末移設に伴うLAN配線、電源工事等の他課調整を行い、また他校学校図書館や公共図書館からの応援にもとづき箱詰め、配架等の作業を分担して行いました。 ・新任学校司書の研修を行いました。 ・子ども読書活動フォーラムの会場開催を取りやめ、全市立小中学校向けの講演DVDを作成・配布しました。 ・大規模校の支援にあたっては、大規模校等支援員をはじめとした読書振興課の職員が、30学級以上の二校について、各週一回訪問して配架や予約リクエスト入力など業務支援を実施したほか、本の修理を図書館サポーターが担いました。 ・療養休暇等で学校司書が不在となった学校図書館については、読書振興課の職員のほか、近隣校の学校司書による応援を受け、館内整理や配架など業務支援や、選書や発注業務の代行支援を行いました。 	○	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書と公共図書館司書の業務のあり方 ・司書不在校への支援内容の整理 <p>【令和3年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館、公共図書館ともに今後の司書の役割、在り方について検討を継続して進めます。 ・令和2年度に引き続き、大規模校等の学校図書館支援を担当する人材を配置します。 ・（仮称）庄内さくら学園開校および（仮称）南校の学校図書館統合に向けた準備を進めます。
<p>0. 1 から 4 の目標実現を支えます。 該当プラン①・②・③・⑤・⑥・⑧・⑨・⑩・⑫・⑬・⑮・⑰・⑳・㉒・㉓</p>		
<p>優先的な取組プランと事例</p>	<p>達成状況</p>	<p>課題、令和3年度に向けての取り組み</p>

<p>【優先的取組プラン：①最適な実施手法の確立】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）中央図書館を核とする施設再編や将来的ニーズの変化に対応できる図書館の機能・運営・事業手法などについて検討し、「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」（以下、「（仮称）中央図書館基本構想」）を策定しました。 ・分館の運営体制見直しにむけて、分館・地域館の図書館業務・サービス内容について精査しました。 	○	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分館運営体制見直しに伴う施設階層ごとの図書館サービスの在り方① ・（仮称）中央図書館を核とした体制を見据えた各館の役割の明確化と、効率的な人員体制およびセルフ機器設置の検討③ ・（仮称）中央図書館基本構想や「将来的な司書業務の在り方懇談会」の検討も踏まえた役割分担の明確化⑤ ・人員配置の見直し、多様な雇用形態のなかでの運営管理の継続実施
<p>【優先的取組プラン：③業務の改善・集中化】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡町図書館にセルフ式返却機、セルフ式予約受取棚（簡易型）を設置する検討を行いました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・労働市場の変化に対応した優れた人材の確保、及び持続可能な図書館運営をめざした計画的な採用⑥ ・市内各エリアの公共施設再編に関する動向の把握 ・（仮称）中央図書館の事業手法と機能複合に関する検討②
<p>【優先的取組プラン：⑤職員の役割分担】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「将来的な司書業務の在り方懇談会」を開催し、公共図書館司書と学校司書に求められる役割と職務などについて話し合い、それぞれの業務について理解を深めるとともに、豊中市の司書の果たす役割などについて検討しました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用されていない市民にむけての広報手段 ・SNSの活用による効果的な広報⑧ <p>【令和3年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）中央図書館基本構想で示した新たな分館運営体制を試行します。
<p>【優先的取組プラン：⑥採用計画の作成】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の見直しや「豊中市公共施設等総合管理計画」などを踏まえ、多様な雇用形態による役割分担や将来的な施設配置の変化予測も含めた人員配置について議論を行いました。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・岡町図書館にセルフ式予約受取棚（簡易型）を設置します。 ・（仮称）南部コラボセンター開設に向け、（仮称）庄内さくら学園及び関係部局との連携事業について検討を進めます。 <p>①</p>

<p>【優先的取組プラン：⑫ 施設配置の最適化】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）中央図書館基本構想を策定し、（仮称）中央図書館と各図書館の位置づけ及びその蔵書規模と機能等を示しました。 ・「青年の家いぶき」の工事のため、近隣のセンターにて予約資料をお渡しする準備を進めました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・岡町図書館にセルフ式返却機、セルフ式予約受取棚（簡易型）を導入します。 ・（仮称）中央図書館基本構想を踏まえ効率的な運営をめざし、次期システムリプレイスに向けた検討を進めます。③ ・「将来的な司書業務の在り方懇談会」の成果物を作成します。 ・豊中市の会計年度任用職員の制度の動向を踏まえた役割分担の明確化を進めます。⑤
<p>【優先的取組プラン：⑳効果的な広報】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入者向けチラシの改訂をしました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う全面休館から一部サービスの再開に至る案内を図書館や市 Web サイト、広報、ポスター掲示、電話などで対応しました。 ・図書館の混雑状況を確認してから来館できるよう、混雑ランプ「ロコガイド」を導入しました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は（仮称）中央図書館基本構想を踏まえた施設配置とともに職員体制の見直しに関する案を示し、コスト目標達成までのロードマップの明確化に向け、検討を進めます。 ・他部局や学校図書館から新たに配属された職員を対象とする図書館の業務研修を引き続き実施します。⑥ ・（仮称）中央図書館候補地選定および事業手法検討にむけたサウンディング型市場調査を進めます。 ・（仮称）中央図書館基本構想に掲げる施設配置プランを検討し、「（仮称）施設配置計画」策定に向け取り組みます。⑫ ・新型コロナウイルス感染症拡大防止によるサービスの変更をすみやかに知らせるとともに、引き続き市民にわかりやすい情報提供を図ります。㉔

11. とよなかブックプラネット事業

学齢期の子どもたちの多様な読書・学習活動をささえるため、学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備し、相互の連携強化に取り組んでいる。

緊急事態宣言発出にともなう臨時休校中の子どもたちに向けた本の紹介などの動画作成や「子ども読書活動フォーラム」として作家・柳田理科雄さんによる講演動画を作成し、市立小中学校に配布するなど、感染防止をはかりながら読書のきっかけづくりに取り組んだ。

12. (仮称) 中央図書館基本構想

「豊中市(仮称)中央図書館基本構想」(以下「基本構想」)策定に向け、令和2年度に実施した取り組みは以下のとおり。(5ページ参照)

<図書館の未来を考えるオンラインミーティングの開催>

これからの図書館のあり方について意見を出し合い、「基本構想」に反映させるため、Web会議システムを利用したオンラインでのミーティングを、令和2年9月から11月の間で計4回開催した。10代から80代まで幅広い年代の参加者13名が、図書館の将来について議論した。

参加者からは、ICT技術を活用した図書館サービスの新たな展開とともに、情報が行き届かない人々への支援をおこなう役割を期待する意見が寄せられた。また、積極的な情報発信による新たな利用者層の開拓や、司書の専門性を活かしたサービス提供への期待も伺うことができた。



<オンラインシンポジウム「図書館でつながる新たな可能性」の開催>

これからの図書館サービスの役割や可能性について考える契機となるよう、講演とパネルディスカッションによるシンポジウム「図書館でつながる新たな可能性」を、令和3年1月にオンラインで開催し、66名が参加した。

講演は「これからの図書館の可能性について」と題し、奈良大学文学部教授・嶋田学さんに、市民とともにこれからの図書館について考え、価値を創造していくことの重要性や、コロナ禍を踏まえた図書館サービスの再構築を進めることの必要性についてご講演いただいた。

またパネルディスカッションでは、コーディネーターに嶋田学さん、パネリストに豊中市立図書館協議会委員/豊中図書館の未来を考える会・天瀬恵子さん、しょうないREK代表・小池繁子さん、一般財団法人建築保全センター・池澤龍三さんをお迎えし、岩元義継教育長を含めた5名で「これからの豊中市立図書館に期待すること」をテーマに議論していただいた。

このほか、シンポジウムでは「基本構想」の素案について説明し、同日より開始した同構想素案への意見募集についても案内した。

<(仮称)中央図書館基本構想策定に係るヒアリングの実施>

図書館施策の動向や機能・資料配置のあり方、(仮称)中央図書館の整備を見据えた建築に関する知見について、構想策定の参考とするため、3名の学識経験者から意見聴取をおこなった。また、子どもの読書活動推進や障害者サービス、多文化サービスなど、さまざまな分野で図書館と協働して活動をしている計14の関係団体からも、今後の図書館サービスや(仮称)中央図書館機能について意見聴取した。

<(仮称)中央図書館基本構想策定委員会の開催>

令和元年度に引き続き、庁内会議である(仮称)中央図書館基本構想策定委員会を設置し、会議を3回開催して庁内関係各課と構想策定に向けた検討をおこなった。

<(仮称)中央図書館基本構想 素案に対する意見公募>

令和3年1月15日から2月5日の間、「基本構想」の素案への意見公募を実施した。29の個人・団体から計79件の意見が寄せられ、同構想の内容を見直した。また各意見については今後の同構想推進の参考とする。

<(参考)(仮称)中央図書館基本構想に定めた評価指標>

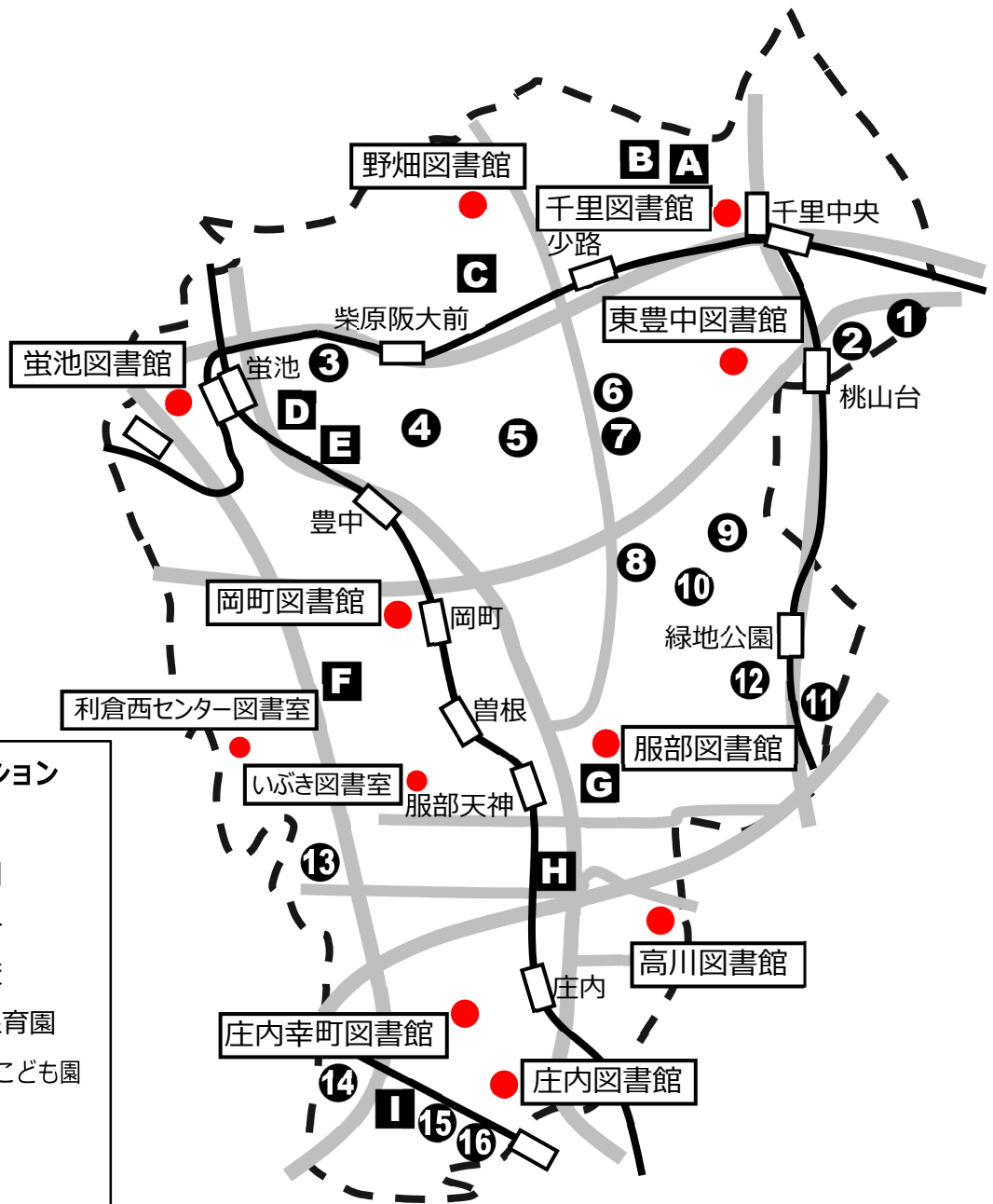
「基本構想」では、進行管理を目的とした評価指標と目標を設定している。令和2年度の各評価指標の値は以下のとおり。

評価指標		目標水準	令和2年度
指標①	実貸出利用率	中央館開館の翌年度に20%	13.3%
指標②	全館の年間利用者数	中央館開館の翌年度に200万人	1,190,190人
指標③	国立国会図書館レファレンス協同データベースに公開したレファレンス事例のアクセス数	60万件以上	825,301件
指標④	総出版数に対する図書館における購入タイトル数の比率	50%以上	51.7%
指標⑤	市民一人あたりの図書館費	令和6年度に2,300円 中央館開館の翌年度に2,000円	2,562円
指標⑥	利用者満足度	(評価手法も含め令和3年度に検討)	

施設案内

図書館マップ

※いぶき図書室は
令和3年3月20日より
改修工事のため休室



- 施設巡回ステーション**
- A** 豊中支援学校
 - B** 北緑丘こども園
 - C** 発達支援あゆみ
 - D** 刀根山支援学校
刀根山こころ保育園
 - E** アトリオとねやまこども園
 - F** 原田こども園
 - G** 夢の鳥保育園
 - H** 児童発達支援センター
 - I** 庄内西こども園

令和3年3月31日現在

※B・E・F・G・Iのステーションは 令和3年4月以降、巡回から配本に変更

動く図書館ステーション

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ① 上新田4 (朝日プラザ千里A棟) | ⑨ 東泉丘4 (ジオ緑地公園3番館) |
| ② 上新田4 (桃山台グリーンマンション) | ⑩ 西泉丘2 (グランドールマンション) |
| ③ 刀根山元町 (刀根山元町北会館) | ⑪ 東寺内町 (寺内南公園) |
| ④ 刀根山2 (天理教会高香分教会) | ⑫ 寺内2 (日商岩井第1緑地公園マンション) |
| ⑤ 本町9 (住友化学社宅4号棟前) | ⑬ 上津島2 (上津島センター) |
| ⑥ 上野東2 (堀田公園) | ⑭ 庄本町3 (そんぼの家豊中庄本町横駐車場) |
| ⑦ 上野東1 (豊松園ハイツB棟前) | ⑮ 二葉町1 (市営二葉第二住宅) |
| ⑧ アルビス旭ヶ丘 (6-4号棟北側) | ⑯ 大島町2 (洲到止八幡宮) |

施設概要

館名	設置年月 構造	蔵書 冊数	敷地面積 専用床面積	その他施設概要
岡町図書館 岡町北 3-4-2 6843-4553	昭和 20 年(1945 年) (平成 4 年 5 月改修) 鉄筋コンクリート造 4 階建/ 地下 1 階	約 24.2 万 冊	1,710.63 m ² 3,272.08 m ²	
服部図書館 服部本町 5-2-8 6862-0800	平成 11 年(1999 年)1 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 6.2 万冊	1,317.54 m ² 569.29 m ²	複合施設 服部介護予防センター
庄内図書館 三和町 3-2-1 6334-1261	昭和 50 年(1975 年)7 月 (平成 5 年 2 月末改装) 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 7.3 万冊	3,945.99 m ² 882.16 m ²	複合施設 庄内介護予防センター 庄内公民館
高川図書館 豊南町東 1-1-2 6336-6901	平成 12 年(2000 年)6 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 6 万冊	3,240.34 m ² 1,257.90 m ²	複合施設 高川スポーツルーム 高川老人憩の家 高川介護予防センター
庄内幸町図書館 庄内幸町 4-26-14 6332-8220	平成 5 年(1993 年)11 月 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 1.2 万冊	205.49 m ² 484.58 m ²	
千里図書館 新千里東町 1-2-2 千里文化センター コラボ内 4 階 6831-0225	昭和 53 年(1978 年)4 月 (平成 20 年 2 月リニュー アル) 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 14.7 万 冊	3,139.59 m ² 1,731.81 m ²	複合施設 市役所新千里出張所 千里保健センター 千里公民館 千里介護予防センター
東豊中図書館 東豊中町 5-2-1 6856-4660	平成 5 年(1993 年)11 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 6.4 万冊	3,282.22 m ² 807.97 m ²	複合施設 ゆたかこども園
野畑図書館 春日町 4-11-1 6845-2400	昭和 63 年(1988 年)6 月 鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階建 /地下 1 階	約 31.6 万 冊	2,000.01 m ² 3,846.46 m ²	
蛍池図書館 蛍池中町 3-2-1-502 ルシオーレ内 5 階 6840-8000	平成 15 年(2003 年)5 月 鉄筋コンクリート造 7 階建	約 6.3 万冊	3,762.59 m ² 672.98 m ²	複合施設 蛍池公民館 パスポートセンター 豊中市教育センター 蛍池老人憩の家 商業施設
動く図書館 岡町図書館より出動	昭和 25 年(1950 年)	約 3,000 冊	ステーション 16 ヶ所 施設 10 ヶ所	
いぶき図書室 服部西町 4-13-1 青年の家いぶき内	昭和 61 年(1986 年)	約 3,100 冊		
利倉西センター図書室 利倉西 1-4-22	平成 29 年(2017 年)7 月	約 4,300 冊		

※動く図書館・各図書室は岡町図書館所属

休館日・開館時間

岡町図書館 庄内図書館 野畑図書館	毎週月曜日（その日が休日*1に当たるときはその翌日以降の最初の休日に当たらない日） 12月29日から翌年1月4日（1月4日が月曜日に当たるときは1月5日）まで 館内整理日（8、12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日*2に当たるときはその前日）、特別整理期間
千里図書館	12月29日から翌年1月4日まで 館内整理日（12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
東豊中図書館 服部図書館	毎週月曜日（その日が国民の祝日に当たるときはその翌日以降の最初の国民の祝日に当たらない日）、12月29日から翌年1月4日（1月4日が月曜日に当たるときは1月5日）まで 国民の祝日（日曜日及び土曜日を除く）、館内整理日（8、12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
高川図書館 蛭池図書館	毎週金曜日（その日が国民の祝日に当たるときは、その前日以前の最初の国民の祝日に当たらない日）、12月29日から翌年1月4日（1月4日が金曜日に当たるときは1月5日）まで 国民の祝日（日曜日及び土曜日を除く）、館内整理日（8、12月を除く毎月最終木曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
庄内幸町図書館*3	毎週月曜日、火曜日、木曜日及び金曜日、国民の祝日、12月29日から翌年1月4日まで 特別整理期間

*1 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。以下同じ。

*2 同法第2条に規定する国民の祝日をいう。以下同じ。

*3 平成29年11月1日より開館日を水・土・日曜日の週3日に変更。自習・新聞閲覧スペースを設置（週6日）

		成人室	こども室	参考室
岡町図書館	火～金	10時～19時	10時～17時	
庄内図書館	火～金	10時～19時	10時～17時	
千里図書館	月	10時～17時		
	火～金	10時～20時		
野畑図書館	火～金	10時～19時		10時～17時
高川・蛭池図書館	月・水	10時～19時		
	火・木	10時～17時		
東豊中・服部図書館	火～日	10時～17時		
庄内幸町図書館	水・土・日	10時～17時		
いぶき図書室	水・土	13時～17時	（青年の家いぶき内）	
利倉西センター図書室	水・日	14時～17時		

※土・日は、（図書室を除く）全館10時～17時

※祝日・休日開館の場合は10時～17時（岡町、庄内、千里、野畑、服部、東豊中図書館）

※いぶき図書室は令和3年3月20日より改修工事のため休室



40万人の
とよなか
未来バトン
市制施行85周年

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

4 質の高い教育を
みんなに



発行日
編集・発行

令和3年(2021年)9月発行
豊中市立岡町図書館
<https://www.lib.toyonaka.osaka.jp>